

紙面から

- 図書館をご利用ください…2
- 水道料金システムが新しくなります…3
- 「日野人げんき！」プラン…6・7
「だれもが健やかでいられるまちづくり」を進めます
- 育てよう 一人ひとりの人権意識…8
- 保育所・学童クラブ
入所(会)申請書を配布しています…12



NHK健康フェア

健康フェアin日野

健康に関する関心が高まっています。日ごろの生活習慣をこの機会に見直してみませんか？医師による健康相談や笑って学ぶ健康落語、そのほかにも知って得する健康情報がいっぱいです。ご家族そろってご来場ください。

(健康課 ☎581-4111)

12月19日(日) 9:20~15:00
市民会館、市役所、日野中央公園

会場の模様は
 2月24日(木)N
 HK総合テレ
 ビ 8:35~10:
 00に放送予定

ステージコーナー 市民会館大ホール

オープニングセレモニー

- ・よさこい踊り(新選組連) 9:20~10:00
- ・9020表彰(90歳以上で20本以上歯のある方の表彰)
※表彰対象者募集中

歌って元気!
ファミリーコンサート 10:00~11:00
 曲目・夢のつづき(NHK健康フェアテーマ曲)、公園にいきましょう、世界に一つだけの花[♫]



健康落語 11:15~12:15

ろうそく 笑いながら学ぶ
蝋燭 がん予防
 医学博士/落語家
福澤恒利氏(立川らく朝)

市民会館ロビー

- 10:00~15:00
- 健康・体力づくりに役立つ運動の相談と指導
- コンピューターによる健康診断
- 自動測定・漢方あれこれ相談
- NHKコーナー

展示室1・2

- 10:00~15:00
- 新選組コーナー
- 健康危機管理対策事業の紹介 ~インフルエンザ・食中毒を予防しましょう
- 中学生対象の「食のアンケート調査」結果紹介
- 「日野人げんき!プラン」健康づくり推進員の紹介

名医からのメッセージ

「怖い自己流!間違いだらけの薬の飲み方」
 13:00~14:00
 昭和专业大学教授
田代真一氏

健康エッセー

「わたしの健康法」
 独自の勝負観・人生観を語る!
 14:00~15:00
 永世棋聖
米長邦雄氏
 平成15年、史上4人目の1100勝を達成

小ホール

- 10:00~15:00
- 健康と薬の相談
- 血流測定(血管老化度をチェックします)
- 正しい血圧の測り方(ご自宅の血圧計をお持ちください。医師が正しい使い方を教えます)
- 「石田散薬」に関する展示
- 市内小・中学生の健康と歯に関する図画・ポスター展
- お口の健康相談
- 口腔ケア用品の使用相談
- 8020宣言
- 歯垢(プラーク)の顕微鏡観察
- 口臭測定

市役所

- 【5階505会議室】
- ねこの飼い方講習会(10:00~11:30)
- 犬の飼い方講習会※犬のしつけの実技あり(12:00~15:00)
- 【1階101会議室】
- 人と動物との関係のパネル展及びビデオ上映(10:00~15:00)
- 動物健康相談(10:00~15:00)

市民食堂(1F)営業します

地元野菜を使ったヘルシーメニュー
 具だくさんの豚汁、野菜たっぷり健康カレー、豆腐のしょうゆゼリーサラダ^等



市民プラザ

- 地元の農産物等の販売コーナー
- 「野菜…どれだけ食べればいいのか?」コーナー



日野中央公園

- ひのよさこい踊り(13:00~14:00)
- ドッグランコーナー
小型犬専用タイム(10:00~11:30)
フリータイム(12:00~15:00)



- ※利用できる方
- ・日野市に畜犬登録をしていて、平成16年度の狂犬病予防接種を済ませている犬
- ・犬を制御できる方が同伴して入場すること
- ・場内での事故について、自己責任を負うことに承諾いただける方
- ・詳細は当日の掲示による



※駐車場に限りがありますので、車での来場はご遠慮を。屋外イベントは天候等により内容が変更になる場合があります

都市の「共助」
 日野市長 弘 社
 早いものでもう師走。寒さも次第に厳しくなってきました。地震や台風の被災者の方々はどうな状況なのでしょうか。避難所や仮設住宅で年を越すのも難儀なことでしょう。お見舞い申し上げます。
 さて、わが日野市からも新潟県中越地震の被災地に職員支援隊を派遣しました。10月末から、建物診断班・運送班・保健医療班・土木班など合わせて33人の職員が、それぞれ4日から1週間ほど活躍しています。主に新選組フェスタでご協力いただいた長岡市や、実践首長会で親しくしている見附市などで、相手の要望に応じた支援活動に交代で当たりました。
 第1班は、新選組フェスタ会場の募金に実行委員会からの寄付金を加えた100万円と、食糧なども届けました。別に、市議会からは義援金が送られました。なお、職員や市民による募金は今も続けられています。
 身近な地域における住民相互の共助は大切ですが、やや遠方の自治体が連携を取り合って支え合い、助け合う。まさに都市の「共助」です。加えて派遣された職員たちは、日野市の今後の防災行政にも経験を生かしてくれるはずです。
 いずれにせよ多摩地域では、いつ直下型地震が来てもおかしくないと言われています。市もしっかりと備えます。市民の皆さんも食糧などの備蓄はもとより、心の備えも怠りなく明るい新年を迎えましょう。